

News

IT活用セミナーを9月16日（水）に開催します

令和8年度IT活用セミナー（併催：第274回産学官イブニング研究交流会）を9月16日（水）に開催します。今回のメインテーマは「AI活用で企業の未来を拓く～AIで変わる、経営・採用・業務のこれから～」。地方企業がAIを活用して経営課題を乗り越えた事例や、人手不足時代に対応するための採用・販促・業務効率化への具体的な活用方法など、実践的な内容を分かりやすく紹介します。

第1部では、タイムカプセル株式会社代表取締役の相澤謙一郎様が登壇します。地域企業のデジタル活用支援や新規事業創出に数多く携わってきた経験をもとに、「AI活用でピンチをチャンスに変えた地方企業の実例」を紹介。AIを導入することで業務改善や新たな価値創出につながった事例をとおして、地方企業ならではのAI活用の可能性を解説します。

続いて、八幡平市にありますがAqsh株式会社代表取締役の塚田崇博様が、「人手不足時代の中小企業AI活用～採用・販促・業務効率化を今日から変える実践入門～」をテーマに生成AIを活用した業務効率化や採用活動、販促への活用方法など、すぐに実践できるノウハウを分かりやすく紹介します。

講演後には、「一関市の企業がAIで競争力を持つための条件とは」をテーマにパネルディスカッションを開催します。両講師に加え、一関高専発のスタートアップ企業として活躍する株式会社Imanect代表取締役の藤原捷羽様もパネラーとして参加し、それぞれの知見や経験をもとに、地域企業に求められるAI活用のあり方について議論を深めます。

詳しくは、当センターホームページを御覧ください。多くの方の参加をお待ちしております。

日時 令和8年9月16日（水）【講演の部】15:00～17:50（開場は14:30から）
【交流の部】18:00～19:30

場所 ホテル松の薫一関（一関市大槻町2-37）

対象 市内企業の経営者、管理職、技術者など

定員 先着70人

費用 講演の部 無料、交流の部 5,000円

登壇者 タイムカプセル株式会社 相澤 謙一郎様
Aqsh株式会社 塚田 崇博様
株式会社Imanect 藤原 捷羽様
一般社団法人デジタルラボ一関 堀内 大様

<申込先>



令和7年度IT活用セミナーの様子

申し込みは、こちらのURLまたは二次元コードからお願いします。

URL : <https://forms.gle/mTgSrXxFSGrne6YD7>

News

令和8年度一般公開～県南技研を知ろう！～

8月1日（土）9:30～15:30、当センターの令和8年度一般公開(キッズサイエンス併催)を開催します。ガイド付きの施設見学や顕微鏡での観察体験ができます。当日は予約不要でどなたでも入場フリー(無料)です。ご興味がある方は是非お気軽にお越しください。



8月
イブニングは
お休みです

また、次の3日間は臨時休所です。
8月12日（水）、13日（木）、14日（金）

★第274回産学官イブニング研究交流会のご案内

場所:ホテル松の薫一関
日時:令和8年9月16日(水)
講演の部 15:00～17:50 無料
交流会 18:00～19:30 5,000円

Topics

令和8年度ものづくり産業振興事業 品質管理(QC)入門講座を開催

5月29日(金)、6月5日(金)、12日(金)の3日間、品質管理(QC)入門講座を開催し、8名が参加しました。参加者からは、「内容が理解しやすく、進み方も早いわけではなかったため楽しんで学ぶことができた」、「細かい所を教えていただいたので基礎部分がわかりやすく感じた」との声が聞かれました。



講座の様子

Topics

一関市ものづくり人材育成事業 分析技術基礎講座を開催

6月18日(木)～19日(金)、ICP-AES、蛍光X線分析装置、FT-IR、SEM-EDXの基礎を学ぶ分析技術基礎講座を開催し、4名が参加しました。参加者からは、「各分析機器を実際使用しながら説明された為、イメージしやすかった」、「分析について、どのようなものなのか知ることが出来た」との声が聞かれました。



講座の様子

Topics

技術者情報交換会を開催

6月23日(火)、宮城県産業技術総合センター、岩手県工業技術センター、一関高専、当センターの4機関より若手技術者中心の情報交換を目的に、技術者情報交換会が初の試みとして開催されました。

各々どのような研究や業務を行っているか、得意分野や趣味などをざくばらんに自己紹介し、岩手・宮城研究分析機関の連携力や親睦を深めました。



技術者情報交換会の様子

Topics

一関市ものづくり人材育成事業 オーダーメイド分析講座を開催

6月29日(月)、お持ち込みいただいたサンプルに合わせGC/MSを用いたオーダーメイド分析講座を開催しました。参加者からは、「マンツーマンでのご指導でゆっくり説明、質問が行なえて良かった」との声が聞かれました。



講座の様子

Column

化学(ケミストリー)の視点 ★連載版No.36

※今回の担当は、当センター研究開発部技師 志田です。

～紫外線の種類～

夏が近くなり、気温や湿度が上がり始めましたが、それとともに紫外線も意識する季節になりました。今回はよく耳にする「紫外線」についてまとめてみます。

紫外線は太陽から放出される電磁波のひとつで、目に見えない光(不可視光)です。可視光の「紫」の外側に位置することから、紫外線「Ultra Violet (UV)」と呼ばれます。紫外線は波長が400～10nmで、熱的な効果をもたらす赤外線とは違った性質があり、主に化学的な反応に寄与します。そのため、化学線とも称され、殺菌、ビタミンDの生成、血行や新陳代謝の促進など、人体に作用する働きがあります。

紫外線は波長によって、380～200nmの近紫外線(UVA:380～315nm、UVB:315～280nm、UVC:280～200nm)、200～10nmの遠紫外線または真空紫外線(VUV)、121～10nmの極端紫外線(EUV)などに分かれます。UVAが地表に降り注ぐ紫外線の9割を占め、UVCは大気ではほぼ吸収され、通常は地表に到達しません。アクセサリ作りに使用されるUVレジンや、半導体の回路パターンをウエハに焼きつける露光装置など、紫外線は様々なものづくりや先端技術で用いられています。

